

週間感染症情報

2024年24~26週 2024年6月10日より2024年6月30日まで

24週 25週 26週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)			1
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	22	22	21
手足口病	52	82	112
ヘルパンギーナ	4	10	18
伝染性紅斑	2		
感染性胃腸炎	50	25	9
ノロウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	4	2	5
伝染性膿痂疹(とびひ)	5	2	5
ヘルペス性口内炎		1	1
アデノウイルス感染症	1	3	3
RSウイルス感染症	7	4	9
マイコプラズマ感染症		1	
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ			
インフルエンザ A	1		
インフルエンザ B			
新型コロナウイルス感染症	32	34	39

2024年24~26週の3週間の報告です。インフルエンザAの報告が24週に1例ありました。コロナは終息することなく、総社市でも増加傾向です。家族内感染以外の小児の感染例の報告をみかけるようになりました。受診せずに済みます人も多いようです。せめて、体調不良の場合は休み、症状がある場合はマスクを着用して感染をひろげないようにして下さい。溶連菌感染症は多い状態が続いています。小児は軽症例が多く抗菌剤の内服ですぐに解熱して元気になります。10日間の内服が必要です。中には入院したり輸液が必要になる重症例もあります。成人例もみかけます。薬価が切り下げられて抗菌薬が手に入りにくくなっています。医者も必要な時以外は処方しませんが、製薬会社が赤字を出さずに済むように薬の値段を決定してほしいです。

手足口病が市内全域で流行しています。発熱、嘔吐で始まる症例もありますが、微熱で軽症の例が多いです。発疹は1週間程度で治癒しますが、便の中には1か月近くウイルスが排泄されます。便の始末や手洗いをしっかりして下さい。感染性胃腸炎の報告は減少しました。RSウイルス感染症の報告が増えています。入院する年少児もみかけます。

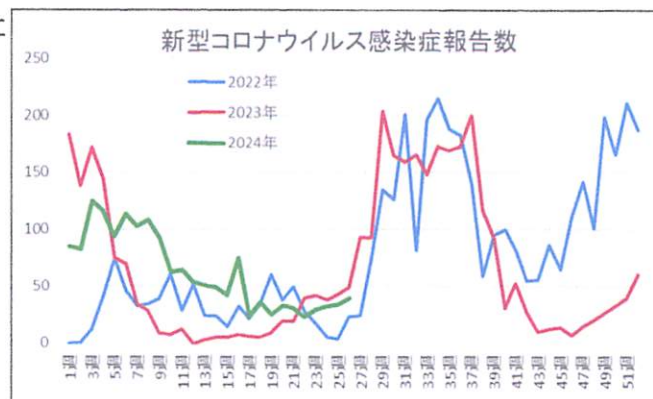
体調不良の場合は休み、ぜひマスクの着用をお願いします。

手洗い・換気に努めて下さい。

医療機関・密な環境・公共交通機関では マスクの着用をお願いします。

今から90年前(総人口6800万人)、ワクチンのなかった時代に多くの子どもたちがワクチンで防げる病気で亡くなりました。夏休みには、母子手帳をみて必要なワクチンを接種しましょう。

昭和9年(1934年)			
主たる感染症	全死者数	5歳以下	
麻疹	11,122	10,372	93%
百日咳	11,440	11,161	98%
ジフテリア	4,410	3,349	76%
インフルエンザ	9,669	4,083	42%



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)